

ごあいさつ



平素より十六フィナンシャルグループをお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

ここに、当社グループの概況や2025年9月期決算の状況をみなさまにご理解いただくため、中間期ディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧ください。

当社は、1877年に岐阜市で創業した「第十六国立銀行」を起源とし、全国16番目に誕生したナンバーバンクとして、そのままに社名を受け継ぐ日本最古の金融機関です。創業以来、いかなる時代の変化にあっても、地域のみなさま、そして岐阜・愛知の歴史とともに、変わらぬ姿勢で地域金融を担い続けてまいりました。

一方、近年は地域経済を取り巻く環境がかつてない速さで変化し、不確実性も一段と高まっています。こうした状況をいち早く捉え、当社は2021年10月、持株会社体制へと移行しました。現在は、中核の十六銀行をはじめとする12社で構成される地域総合金融サービスグループとして、「グループ総合力」と「異業種連携」を強みに、新たな価値の創出に挑んでいます。地域にとって大切なテーマに真摯に向き合い、お客さまの「一歩先を行く存在」として、信頼される金融サービスを提供し続けています。

そうした取組みの象徴が、2025年4月にりそなグループとの協業でリリースした「じゅうろくアプリ」です。スマートフォンを通じて銀行機能を日常のポケットに収めたこのサービスは、地域のお客さまにとって新たな金融の入り口であり、将来に亘り当社グループを支える次世代型プラットフォームでもあります。こうした一つひとつの取組みを積み重ねながら、私たちは未来に向けて確かな歩みを進めています。

2027年度には、いよいよ創立150周年の節目を迎えます。当社はこの節目に向けて2025年度からの3年間で「ホップ・ステップ・ジャンプ!」する成長イメージを描き、力強い第一歩「ホップ」を踏み出しました。2026年度はその勢いに弾みをつける第二歩「ステップ」を刻み、大きな飛躍へとつなげてまいります。

みなさま方におかれましては、今後とも、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2026年1月

代表取締役社長

池田直樹